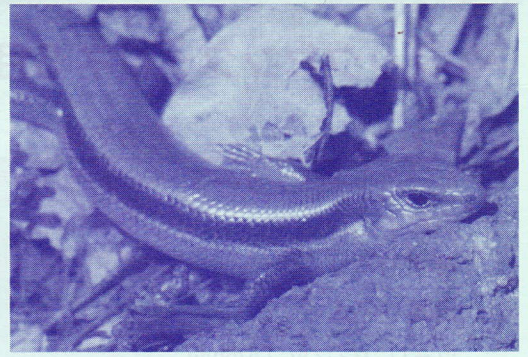


中国語では「トカゲ」は石竜子、「カナヘビ」は蜥蜴である。日本では古来「蜥蜴」と「石竜子」は区別せずに「とかげ」の一言で片付けていたようである。江戸時代以前の文献には、トカゲとカナヘビを明確に区別して記載したものはない。「本朝食鑑」には蜥蜴と石竜子は別種だと書いているが、いずれに関する記述もカナヘビの特徴に該当しない。「和漢三才図会」の「とかげ」の項には「数種類いる」と書いてあるが、尾が青く縦条の明瞭な幼体と成体とを別種と考えただけのようである。「カナヘビ」の名は、「本草綱目啓蒙」に石竜子の地方名の一つとして現れるくらいである。



▲写真1



◀写真2

トカゲ類は変温動物なので日光浴をして体温を30℃以上に上げてから活動を開始する。日当たりのよいところに注意して歩くと植物園内にもニホントカゲ(写真1)日光浴中の成体♂やニホンカナヘビ(写真2 交尾中)がよく見られる。野外でじっとしているトカゲ類を見つけるのは難しい。耳を澄ませて、トカゲが逃げるとききの足音で探す。慣れればトカゲとカナヘビは足音で聞き分けられるようになる。

(写真・解説: 樋上正美)